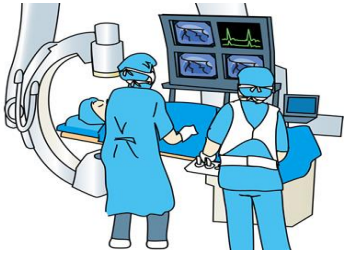
心臓カテーテル治療を受けられる患者様へ（上肢）

PCI(橈骨・上腕動脈穿刺）2日前入院パス【０３００５－０７】

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　入院病棟：＿＿＿＿病棟　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　No1

日付	／　～　／	／			／
入院日数	入院1～2日目	カテーテル当日			カテーテル翌日
イベント		カテーテル前	カテーテル中	カテーテル後	
目標 毎日看護師と評価します	・治療について理解する	・検査・治療後の合併症が出現しない			・治療部位の異常がわかる
内服 注射					
検査					・朝、採血をします
治療 処置	・（　　）手から点滴をします ２０時から点滴開始です ・必要時、手首や肘の毛を剃ります ・便検査を行います 外来でキットをもらい、自宅で採って持参してください 	・カテーテルを刺す部位は、（　　）手首・肘になります ・1時間くらい前に痛み止めのテープを貼ります ・（　　）手に点滴(補液)をします ・着替え、胸や足に検査・治療で使用する心電図の電極を貼ります ・希望時、緊張を和らげる薬（安定剤）を飲みます ・眼鏡・入れ歯・時計・指輪などの金属類は外して、検査・治療へ行きます ・車椅子に乗って検査・治療室へ行きます (肘の場合はストレッチャー（寝たまま移動できる台車）で移動することになります	・治療室の台の上に乗り、仰向けで行います ・治療中は動けませんので背中や腰にだるさや痛みが出たり、苦しくなったりした時は、遠慮せずに申し出てください ・造影剤使用時、体が熱く感じることがありますが、心配ありません 	・終了後は（　　）手首・肘を圧迫固定し、シーネ（板）をあてます 治療で動脈を刺しているため、動かすと出血してしまう危険があります ・手首や肘を曲げないようにしてください ・帰室後ベッド上で心電図をとります ・１時間おきに看護師が出血の有無を確認し、止血していれば固定を外します ・止血が十分でない場合は、圧迫時間が延長されることがあります ・治療後は、トイレ・洗面のみの歩行です ・翌朝まで、病棟内でお過ごしください	・日中で治療部位の消毒をします ・行動範囲は通常通りですが、治療結果によって、変更になる場合があります
食事 飲水		・昼食は軽食(パン食)、夕食は食べやすいよう、おにぎり食になっています ・治療の順番により食事時間をずらすことがあります ・帰室後、吐き気などがなければ食事・飲水は可能です			・通常通りになります
清潔	・許可された方はシャワー浴をしてください				・治療部位が問題なければ,治療24時間後から入浴できます
排泄		・トイレまでの歩行が可能です			
安静 活動					
説明 指導		・薬の中止は(　　)です ・薬の追加は(　　)です ・インスリンを注射している方は(　　)です ・点滴の針は、翌日の日中まで入れておきます ・検査後～翌日の日中まで、心電図モニターを装着します			

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります